

来館したくなる学校図書館を目指して

鹿児島県立薩南工業高等学校 学校司書 下沖 絢美

1. 学校概要

創立115年

12クラス（建築科，機械科，情報技術科，生活科学科）：1学年1学科ずつ

2. 図書館について

【施設設備】

場 所：本館3階（同階には建築科・書道室）

面 積：約180㎡（司書室 約16㎡） / 46席

蔵書数：22,752冊（9月末現在）

新 聞：2紙（南日本・朝日）

雑 誌：6誌（専門誌3誌）



【全校読書活動】

朝 読 書：定期考査の後1週間程度（年間22日実施予定） ※SHR前10分間

読書LHR：年1回「マイベストブック」（10月）→文化祭（11月）にて展示・投票



文化祭での展示→

←マイベストブック
投票のための掲示



「マイベストブック」について

平成26年度から実施している統一LHR（50分）での読書活動。

生徒の読書意欲喚起のため生徒図書委員会を中心として行っている。オススメ本を紙に描き、クラスごとに貼ったものを校内展示と文化祭展示・投票（チャンプ本決定）をする。一緒に職員が参加しているクラスもある。

3. 本校図書館の現状

本校図書館の現状として、オリエンテーションで説明しているものの、読書以外の利用についてなかなか周知が進まず、生徒によって図書館利用・読書量に差があると感じる。

図書館資料の利活用や読書習慣定着の前に、まずは図書館への興味関心を持ってもらうことが大事である。学校には図書館があり、学習や居場所などにも利用できることを生徒に再認識させ、そのような場面で選択肢として図書館を思い出してもらいたい。

そのためには、図書館の敷居を下げ、来館してもらうための取組が必要ではないだろうかと考えた。

4. 具体的な取組（◎は図書委員主体の活動）

職員の協力も得ながら、展示・掲示を毎月行うことで入りやすい雰囲気づくりを行った。

（1）イベント

◎マンガ「文豪ストレイドッグス」×展示（5・6月）

- ・ 読書くじ／読書ビンゴ（夏休み前・読書週間）
- ・ 本の題名でしりとり ・ 本の紹介カード（貸出時）
- ・ セタ ・ おみくじ／絵馬 ◎本の福袋



セタ



←美術部作品と展示

（2）展示・掲示

- ・ 美術部作品と一緒に本の展示（秋） ◎先生のおすすめ本（長期休み前）
- ・ 廊下に手作り傘 約 30 個展示（梅雨） ◎資格・検定おすすめ本（常設）
- ・ 教科おすすめ本（常設） ◎貸出ランキング（外掲示板に毎月）
- ・ 気になる一文／目次 ◎POPやテーマ本紹介（学期1程度）

5. 公共図書館との連携

生徒が知覧図書館に直接行き、本を探し、借りて（団体貸出の利用）、自校で展示をする。

生徒が作成したPOPを知覧図書館で展示する。（文化祭後～）

〈1回目 アート〉



〈1回目 怖い本〉



〈2回目 梅雨〉



〈2回目 時の記念日〉



○目的

- ・ 公共図書館を利用することにより（レファレンス等も含む）、卒業後の図書館利用を促す。
- ・ 自校にない本の展示を行うことで多様な図書に触れる機会を作り、興味関心を喚起する。

○図書委員の様子

- ・ 知覧図書館を初めて利用する生徒が多く、普段と違う場での活動を楽しんでいた。
- ・ 図書委員が試行錯誤しながら、協力して展示物を作る様子が見られた。

○今後

- ・ テーマの選定や本の紹介・展示をする際、関連する内容や本について、生徒が想像力を広げ、生徒主体で計画的に進めることができるよう支援していく。

6. 今後の課題

- ・ レファレンスについての広報を更に行い、「役立つ図書館」や「授業支援」へと繋げる。
- ・ 授業での図書館利用を促すための職員への周知。
- ・ 生徒と共に活動を行いながら、図書委員会の活性化・自主的な活動を促す。
⇒面白そう！楽しそう！と思い、活動できるような働きかけ